



K-MIX R

全国初の診療支援システム K-MIX R BASIC

4月
スタート

レセプト情報診療支援システム（K-MIX R BASIC）

レセプト（診療報酬明細書）を活用し、過去の受診歴や投薬などの診療情報を臨床の現場で医師等が閲覧し診療に活かすためのシステムです。

何が変わるの？

- ・問診での記憶に頼った情報に、客観的な情報をプラスできる。
- ・複数の病院にかかっている場合、一見関係ないと思っていた病状を、医学的見地から把握し、診療に結び付けることができるようになる。

その結果…

- ・より適切な医療が受けられる。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種に必要な問診がスムーズにできる。
- ・同じ検査や治療を繰り返さないですむ。
- ・薬の組み合わせによる副作用の回避。
- ・医療費の負担軽減。

いろいろなシーンでの利用が期待されています

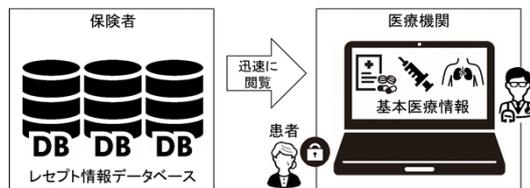


新型コロナウイルス感染症を疑う患者の重症化リスクを把握し、適切な対応を取ることに役立ちます。普段の診療時はもとより、在宅診療時でも活用が可能。災害時や緊急時においても、その活用が期待されています。

レセプトデータを活用するには、K-MIX R BASICカードが必要です！



データの閲覧には、患者と医師の双方の合意が必要です。患者のK-MIX R BASICカード提示と医師のIDとパスワードの認証で、医療情報が閲覧できるようになります。



無料で簡単に登録！

レセプトデータを医師に見てもらうためには、初回は登録が必要です。

- ①K-MIX R BASICに参加している医療機関に健康保険証を持参。その場でK-MIX R BASICカード発行。
- ②2回目以降は、健康保険証と一緒に持参して提示するだけ。

8月からは、マイナンバーカードも利用できる予定です。

